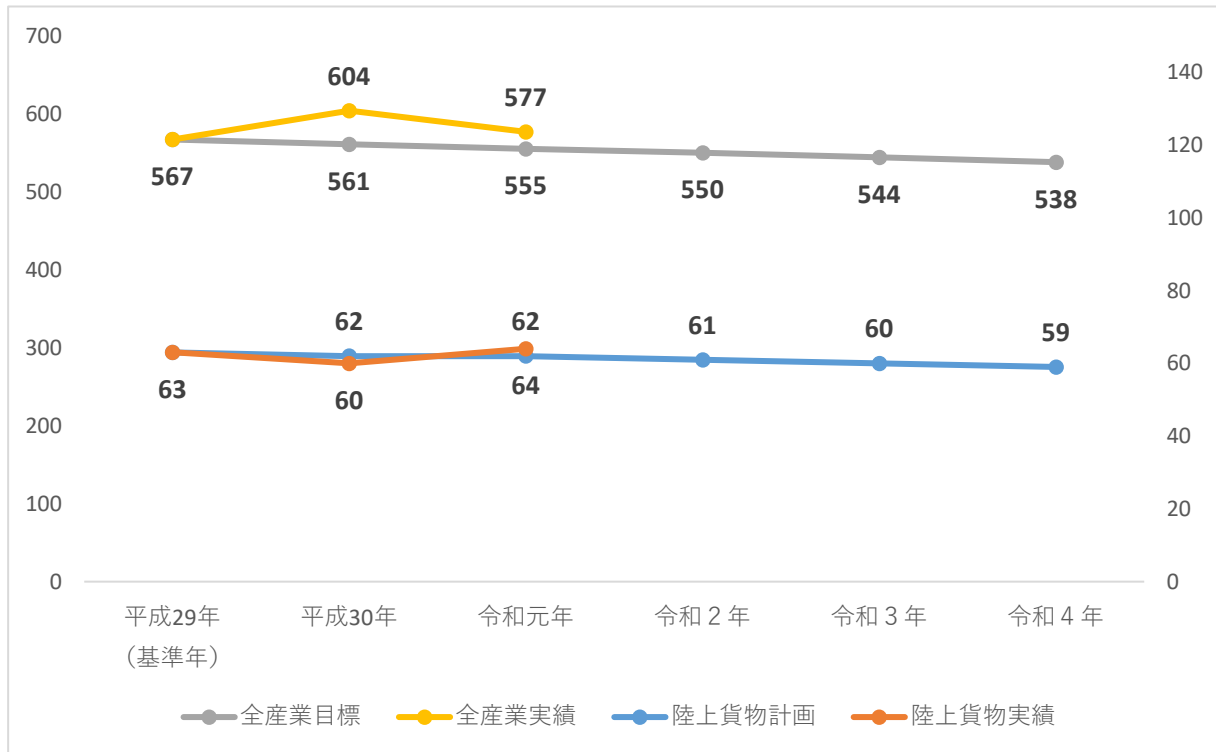


# 第13次労働災害防止推進計画の進捗状況 (陸上貨物運送業・令和2年5月)

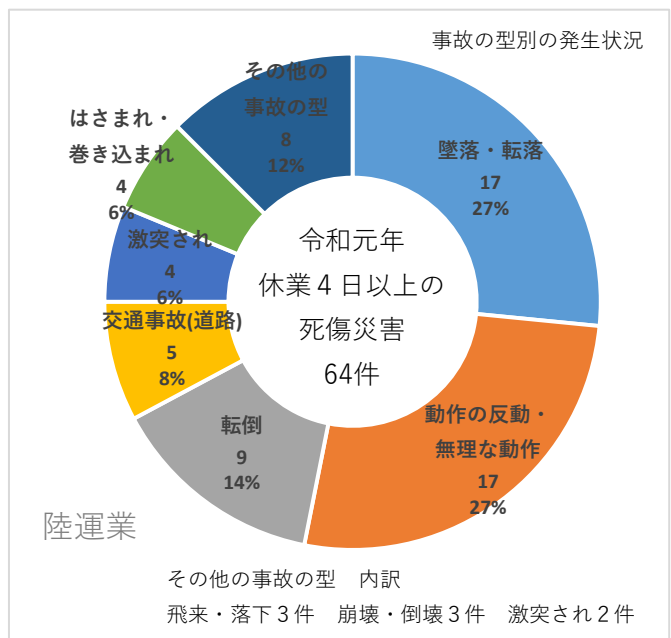
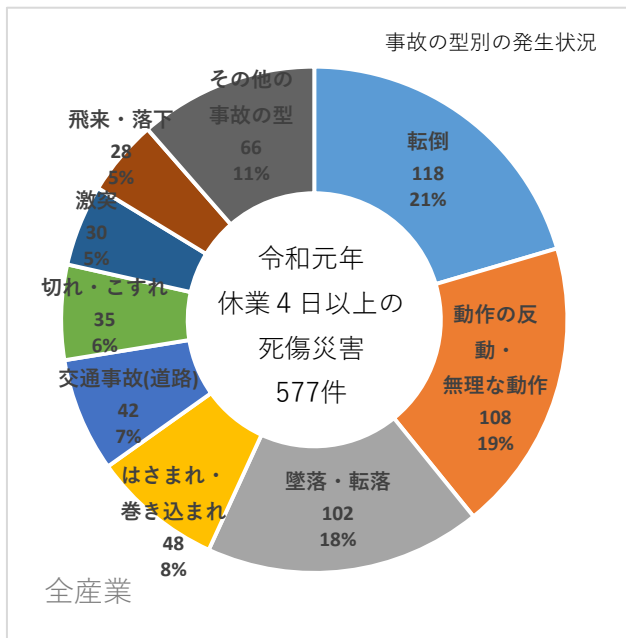


当署管内の建設業における第13次労働災害防止推進計画（以下「13次防」）については、休業4日以上の労働災害を平成29年の60件から令和4年に54件となるよう、10%減少となるよう、事業場において各種の取組をお願いしています。

13次防の初年度となる平成30年の労働災害は、60件となり、対前年比3件（-4.8%）の減少となり、目標値の62件を下回りました。2年目となる昨年の労働災害は、64件で対前年比4件（6.7%）の増加となり、目標値の62件を上回りました。

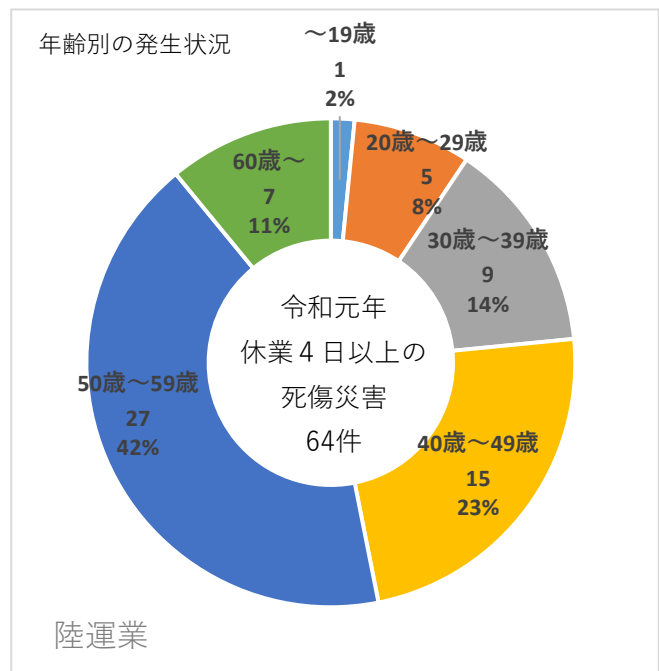
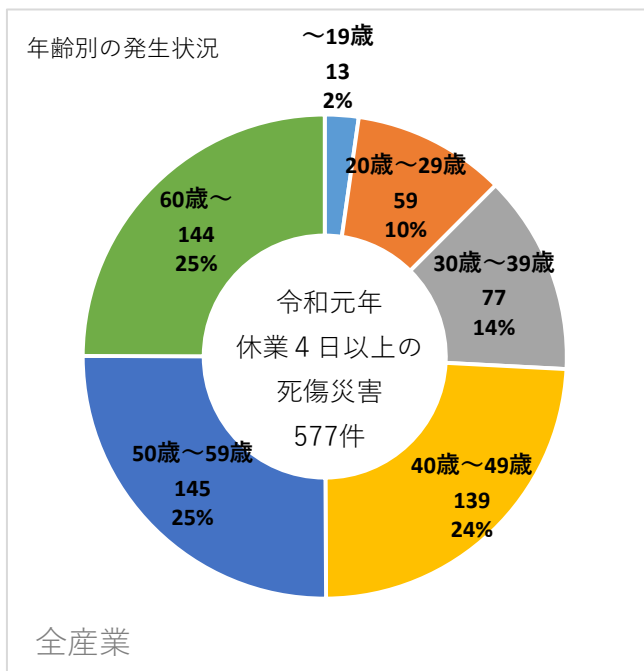
13次防期間中は、連続して目標値を下回ることができませんでしたので、より一層の各種取組をお願いします。

業種別	第12次防 期間中の 死傷災害	平成29年 死傷者数 (基準年)	第13次労働災害防止推進計画							
			13次防 減少目標	平成30年		令和元年		令和2年	令和3年	令和4年
				目標値	確定値	目標値	速報値	目標値	目標値	目標値
全産業 (対前年増減割合)	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	544	538
				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
陸上貨物運送事業	255	63	5%減少	62	60	62	64	61	60	59



令和元年度における陸上貨物運送業事故の型別の災害発生状況では、トラックの荷台等からの墜落、荷の取り扱い作業中の腰痛等がともに17件26.6%（グラフでは26%、27%と表記）と最も多く、次いで施設内での転倒災害9件14.0%の順となっています。

従来から災害が依然として減少していないことから、荷台の昇降、荷の持ち方など基本的な事項を定めて作業手順の遵守を励行して、災害防止に努めてください。



令和元年における年齢別の休業4日以上労働災害発生状況では、高齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつありますが、陸上貨物運送業では、全産業に発生状況と比べて、50歳代の発生割合が高い一方で、60歳代以上の方の被災割合が低くなっています。

13次防では、高齢労働者の労働災害を減少させることも取組の一つであるため、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を参考に高齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めてください。